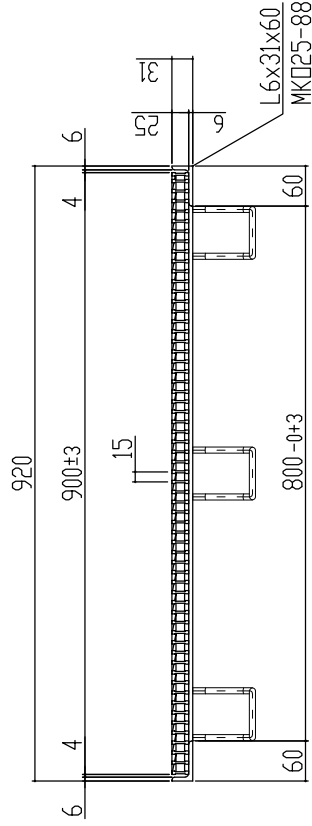
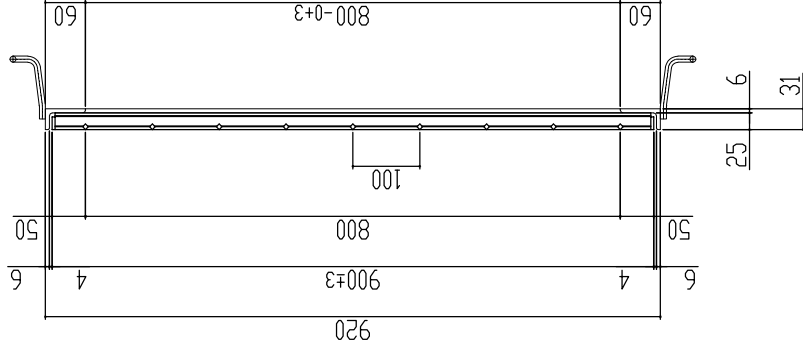
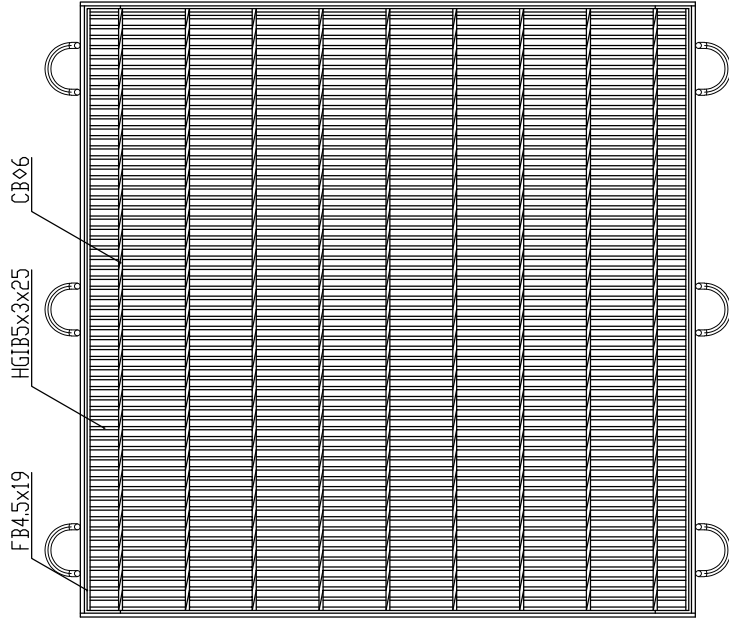


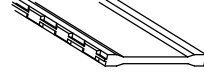
車輦進行方向(横断)



本体重量 45.4kg
受枠重量 15.0kg
合計重量 60.4kg

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)
受枠は錆止め黒塗装仕上げ

主部材詳細図



訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正年月日 訂正年月日	検査 山口	承認 平元	承認 松本	製図 松本	図面名称 T-2	株式会社 マキテック MK駐輪事業部	図番 MKG-L-668	
	訂正事項	検査数量	承認数量	製図数量	ますぶた(ハイアテン) グレーチング 開口800×800用 細目 ノンスリップ	LNHFA2555-88		
	標準製作図面	検査数量	承認数量	製図数量	材質 材番 注冊特許5540			LNHFA2555-88
	訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正年月日 訂正年月日	検査数量	承認数量	製図数量	図番 MKG-L-668			

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNHFA255-88
	製品寸法	900x900x25
	主部材	I-5 × 3 × 25
	断面係数	Z = 0.485 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-2	支点間距離	L = 800
	後輪一輪荷重	P = 8000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 15 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 160 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 8000 \times (1 + 0) \times 15 / 32000$ $\omega = 3.75 \text{ (N/mm)}$
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。 $M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2 \quad \text{より}$ $M = 3.75 \times 0.5 \times 200 \times (800 - 0.5 \times 200) / 2$ $M = 131,250 \text{ (N・mm)}$
	3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm ²) を求める。 $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 131,250.0 / 485,000$ $\sigma_b = 270.62 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{270.62 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--